

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	グリコードで自分の成長を感じよう（生活科）
学年	小学校第1学年
目標	2年生に教えてもらったグリコードを1年生だけで操作する活動を通して、1学期と現在の自分を比較し、自分自身が成長していることや様々な人が自分の成長を支えてくれていることに気付くとともに、これからの期待をもって意欲的に生活できるようにする。
教材タイプ	アンプラグド
使用教材	グリコード
環境	学校所有のタブレット端末①ペアで1台使用②1人1台使用
都道府県	静岡県
実施校	菊川市立横地小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>実施日時：令和3年1月27日（水）</p> <p>①単元や題材などの学習内容について</p> <p>本単元は『小学校プログラミング教育の手引き』にあるB分類として、生活科の内容「(9) 自分の成長」を扱い、グリコードを用いたプログラミング体験を行った。1学期に2年生に教えてもらって一緒に活動した時の自分と、1年生だけでグリコードを操作した時の自分を比較しながら、自分の成長を実感する単元を構想し実践した。</p> <p>②プログラミング体験、児童の様子について</p> <p>まず、グリコードの公式動画を視聴することで、プログラミングとは何かを捉え、基本的な操作について共通理解した。その後、はじめの2つを教師と一緒に取り組んだ後、ペアで対話し試行錯誤しながら進めていった。翌日には、1人1台で挑戦した。</p> <p>児童の振り返りには、「失敗したところもあったけど、がんばった。「ちょっと難しかったけど、協力できて良かった。」「楽しかった。前より上手くなった。」など、自分の成長を実感する言葉が並んでいた。</p>
成果と課題	<p>成果：プログラミング体験を通して、生活科のねらいを達成することができた。</p> <p>課題：日頃から繰り返し操作に慣れていくことが必要である。</p>

